

公益社団法人日本地震工学会 第 64 回理事会議事録

A.日時： 2023 年 6 月 16 日（金） 16 時 00 分～19 時 25 分

B.場所： 建築会館および ZOOM によるオンライン会議

C.出席者：（会長）高田毅士、（副会長）東 貞成、中村いずみ、年縄 巧

（担当理事）小林実央、高橋郁夫、山田岳峰、前川 晃、入江さやか、多幾山法子、皆川佳祐、阿部
慶太、向井洋一、楠 浩一、中嶋唯貴、井上和真、高瀬裕也、小檜山雅之

（監事）永野正行、室野剛隆

オブザーバ出席：戸田薫子事務局長、小松康典事務局員

※下線は欠席者

D.議題および提出資料：

議題

- | | |
|---------------------------------------|----------|
| 1) 役員の自己紹介（全員） | 資料 64-01 |
| 2) 今年度理事会体制と役員の分掌、関係する外部委員会について（小林理事） | 資料 64-02 |
| 3) 今年度の理事会の進め方および年間予定（小林理事） | 資料 64-03 |

報告事項

- | | |
|---|--------------|
| 1) 第 63 回理事会議事録（案）確認（小林理事） | 資料 64-04 |
| 2) 第 11 回社員総会議事録（案）確認（小林理事） | 資料 64-05 |
| 3) 臨時理事会議事録（案）確認（小林理事） | 資料 64-06 |
| 4) 令和 5 年度事業計画（小林理事） | 資料 64-07 |
| 5) 令和 5 年度予算（山田理事） | 資料 64-08 |
| 6) 会務報告（小林理事） | 資料 64-09 |
| 7) 会計報告（山田理事） | 資料 64-10 |
| 8) 総務部会からの報告（小林理事） | 資料 64-11 |
| 9) 広報部会からの報告（入江理事） | 資料 64-12 |
| 10) 情報コミュニケーション委員会からの報告（多幾山理事） | 資料 64-13 |
| 11) 会誌編集委員会からの報告（皆川理事） | 資料 64-14 |
| 12) 国際委員会、地震災害対応委員会からの報告（阿部理事） | 資料 64-15 |
| 13) 論文集編集委員会からの報告（向井理事） | 資料 64-16 |
| 14) 事業企画委員会（企画）からの報告（井上理事） | 資料 64-17 |
| 15) 16JEES 運営委員会からの報告（小檜山理事） | 資料 64-18 |
| 16) 2024 年度大会に関する報告（中嶋理事・楠理事） | （欠番）資料 64-19 |
| 17) 将来構想委員会からの報告（東副会長） | 資料 64-20 |
| 18) メール審議（1 件）結果報告（小林理事） | 資料 64-21 |
| 19) 関東大震災 100 周年記念セミナー（地震学会共催イベント）の報告（東副会長） | 資料 64-30 |

議案

- | | |
|----------------------|----------|
| 第 1 号 入退会者（高橋理事） | 資料 64-22 |
| 第 2 号 委員会委員の委嘱（小林理事） | 資料 64-23 |

第3号 共催・後援・協賛等（小林理事）	資料 64-24
第4号 17WCEE 最終報告会、解散式実施報告と17WCEE 預り金の会計処理について（事務局）	資料 64-25
第5号 編集委員会用 PC リース予算の計上について（編集委員会）	資料 64-29

懇談事項

1) 今後の予定について（小林理事）	資料 64-26
	(欠番) 資料 64-27
2) IT 関連ツールの活用について（小林理事）	資料 64-28
3) その他	

E.議事録：

議題

- 1) 役員の自己紹介（全員）
 - ・資料 64-01 の順に役員および事務局が自己紹介を行った。
- 2) 今年度理事会体制と役員の分掌、関係する外部委員会について（小林理事）
 - ・小林理事より、資料 64-02 に基づいて、今年度理事会体制と役員の分掌、および関係する外部委員会の説明がなされた。
 - ・前川理事の分掌は「会計」のみであることを確認した（資料 64-02 が正しいため、資料 64-01 を修正して再度 NAS に格納する）。
- 3) 今年度の理事会の進め方および年間予定（小林理事）
 - ・小林理事より資料 64-03 に基づいて、今年度の理事会の進め方および年間予定の説明がなされた。
 - ・次回以降の理事会も、対面とオンラインのハイブリッド形式を継続することを確認した。

報告事項

- 1) 第 63 回理事会議事録（案）の確認（小林理事）
 - ・小林理事より、資料 64-04 に基づいて、第 63 回理事会議事録案の説明がなされ、異議なく承認された。
- 2) 第 11 回社員総会議事録（案）確認（小林理事）
 - ・小林理事より、資料 64-05 に基づいて、第 11 回社員総会議事録案の説明がなされ、異議なく承認された。
- 3) 臨時理事会議事録（案）確認（小林理事）
 - ・小林理事より、資料 64-06 に基づいて、第 11 回社員総会の間実施した臨時理事会議事録案の説明がなされ、異議なく承認された。
- 4) 令和 5 年度事業計画（小林理事）
 - ・小林理事より、資料 64-07 に基づいて、令和 5 年度事業計画の説明がなされた（社員総会で承認された内容の報告）。
 - ・IAEE の事務局の活動を阿部理事が支援を行っており、日本からの参加者は（資料 64-23 にあるように）三宅先生（東大）と越村先生（東北大）であることが確認された。
 - ・高田会長より、阿部理事に、IAEE の現状の組織体制について確認するよう指示があった。
- 5) 令和 5 年度予算（山田理事）

- ・山田理事より、資料 64-08 及び 64-10-1 に基づいて、令和 5 年度予算および部会委員会別の会計報告の報告がなされた。
 - ・理事会の旅費に関しては、今後の要検討事項とすることが確認された。
- 6) 会務報告（小林理事）
- ・小林理事より、資料 64-09 に基づいて、総務部会からの報告がなされた。
 - ・小林理事より毎理事会で会務報告に漏れがないかを確認している旨の説明がなされた。
- 7) 会計報告（山田理事）
- （上記 5)の令和 5 年度予算と併せて山田理事より説明済み）
- 8) 総務部会からの報告（小林理事）
- ・小林理事より、資料 64-11 に基づいて、総務部会からの報告（西村前総務理事からの申し送り事項の説明）がなされた。
 - ・会員数の減少の問題は、今後、対応していくことが確認された。
 - ・阿部理事より、16thJEES には海外からの研究者を招待する旨の説明がなされた。
- 9) 広報部会からの報告（入江理事の代理：小林理事）
- ・小林理事より、資料 64-12 に基づいて、広報部会の活動について報告がなされた。
- 10) 情報コミュニケーション委員会からの報告（多幾山理事）
- ・多幾山理事より、資料 64-13 に基づいて、情報コミュニケーション委員会の活動について報告がなされた。
 - ・高田会長より、若手に焦点を当てた取組みは欲しいとの要望が出され、これに対して多幾山理事より次回の委員会で検討する旨の発言がなされた。
- 11) 会誌編集委員会からの報告（皆川理事）
- ・皆川理事より、資料 64-14 に基づいて、会誌編集委員会の活動について報告がなされた。
 - ・皆川理事より、会誌のイベントカレンダーは確定済みであるとの説明がなされた。
 - ・高田会長より、若手に焦点を当てた企画（例えば、若手研究室紹介など）を検討して欲しい旨の要望が出された。
 - ・高田会長より、トルコ地震の名称に未だ揺らぎがある（学会によって名称が異なっている）点についてどういった名称とするのがよいかについて検討して欲しい旨の要望が、東副会長に出された。
- 12) 国際委員会、地震災害対応委員会からの報告（阿部理事）
- ・阿部理事より、資料 64-15 に基づいて、国際委員会、地震災害対応委員会の活動について報告がなされた。
 - ・高田会長より、16th JEES ではインタラクティブに実施して欲しい旨の要望が出された。
 - ・トルコ地震の派遣旅費のサポートに関しては他の学会との間で混乱が生じたが、旅費の支援の規則案を見せて欲しい旨、高田会長から要望が出された。
 - ・トルコ地震に対する調査費用補助事業に採用された井上氏に対し、清野前会長の承認で補助金 25 万円が 6 月上旬に支払われたことが報告された。
 - ・東副会長より、6 学会の積立金については JAEE から提案を行うのが良いとの意見が出された。
- 13) 論文集編集委員会からの報告（向井理事）
- ・向井理事より、資料 64-16 に基づいて、論文集編集委員会の活動について報告がなされた。
 - ・向井理事より、論文の数については近年減少気味であり、昨年度も同様であるとの説明がなされた。
 - ・永野監事より、16th JEES の論文は査読無し、その後の特集号では発表した内容を査読論文として

発刊するとの説明がなされた。

- ・(別件ではあるが) 高田会長より、JAEE がバンクーバーの 13thWCEE で State of the Arts の CD を配布したことが紹介された。
- 14) 事業企画委員会(企画)からの報告(井上理事)
- ・井上理事より、資料 64-17 に基づいて、事業企画委員会(企画)の活動について報告がなされた。
 - ・井上理事より、E-Defense に隣接する E-Isolation の見学も考えているが、両者の管理組織が異なることから調整が必要であるとの発言がなされた。
 - ・高田会長より、生成 AI の活用など今風(いまふう)の企画の提案がなされた。
 - ・高瀬理事より、IoT などの幅を拡げた講習会の企画を検討していきたくの発言がなされた。
 - ・東副会長より、将来構想委員会の観点からも若手向けの企画が欲しい旨の提案がなされた。
- 15) 16JEES 運営委員会からの報告(小檜山理事の代理:小林理事)
- ・小林理事より、資料 64-18 に基づいて、16th JEES 運営委員会の活動について報告がなされた。
 - ・永野監事より、「後援」とは著作物に後援組織の名前を入れる、JEES の宣伝を行う等であり、お金の動きはないこと、また、若手対象の賞については、優秀発表賞(35 歳以下)があることの説明がなされた。
- 16) 2024 年度大会に関する報告(中嶋理事・楠理事)
- ・中嶋理事より、口頭で、今年度は JEES が開催されるため年次大会は開催されない旨、説明がなされた。
 - ・高田会長より、年次大会の位置付け、JAEE としての特徴を、JEES とは区別した上で明確にすることを検討すべきであるという提案がなされた。
 - ・中嶋理事より、JAEE の年次大会の問題は第 2、第 3 学会として見られがちで、そのために発表数が減る傾向があるとの説明がなされた。
 - ・中嶋理事より、年次大会を被災地で行うことは重要であるとの発言がなされた。
- 17) 将来構想委員会からの報告(東副会長)
- ・東副会長より、資料 64-20 に基づいて将来構想委員会の活動について報告がなされた。
 - ・将来構想委員会からの提言は、(学会ではなく)理事会の活動に対するものであることが確認された。
 - ・高田会長より、「若手」「国際化(Global 化)」は色々な企画・活動に関係しているので、そのような視点からの検討して欲しい旨の発言がなされた。
- 18) メール審議(1 件)結果報告(小林理事)
- ・小林理事より、資料 64-21 に基づいて、メール審議(「関東大震災 100 年・第 11 回首都防災ウィーク」の後援についての賛否)についての結果報告がなされた。
- 19) 関東大震災 100 周年記念セミナー(地震学会共催イベント)の報告(東副会長)
- ・東副会長より、資料 64-30 に基づいて、「関東大震災 100 周年記念一般公開セミナー(2024.11.03)」の現状報告と依頼事項の説明がなされた。
 - ・LOC 大会担当理事は市村前理事から楠理事に引き継がれる予定であり、東副会長から楠理事にその旨を連絡することとなった。
 - ・セミナー全体の司会については、入江理事を第一候補とするが、入江理事は 16th JEES での PD のコーディネータとなっているので、難しい場合には東副会長が司会を行うこととなった。
 - ・本セミナーの広報関係は、多幾山理事(情報 C)、入江理事(広報)、皆川理事(会誌)と相談しながら進めていくことになった。

議案

第1号 入退会者（高橋理事）

- ・高橋理事より、資料 64-22-1~4 に基づいて、入退会者の報告がなされた。

第2号 委員会委員の委嘱（小林理事）

- ・小林理事より、資料 64-23 に基づいて、令和 5 年度日本地震工学会委員会の委員委嘱について説明がなされた。
- ・資料 64-23 について、古屋前理事の姓の漢字の誤り、会誌編集委員会の委員名の欠落の指摘があった（資料 64-23 を修正して再度 NAS に格納する）。

第3号 共催・後援・協賛等（小林理事）

- ・小林理事より、資料 64-24 に示された後援 3 件、協賛 2 件について説明がなされた。
- ・高田会長より、18th WCEE のスポンサーシップを JAEE として拠出しなくても良いのかとの問いかけがなされた（第 4 号議案に関連の情報あり）。

第4号 17WCEE 最終報告会、解散式実施報告と 17WCEE 預り金の会計処理について（事務局）

- ・小松事務局員より、資料 64-25 に基づいて、17th WCEE 最終報告会、解散式実施報告及び収支報告、17th WCEE 預り金の会計処理について報告がなされた。
- ・会計処理（17th WCEE の預かり金の扱い）について、預り金は日本地震工学会の収入（雑収益）となることが承認された。

具体的には、①当該預り金 2,072,880 円全額を本年 6 月に預り金から雑収益に振り替える。

②最終報告会、解散式は、2023 年度の収支予算に計上されていなかったため当該イベントの収支差額-532,100 円は、①の雑収益を充てる。 ③次年度（2024 年度）に当該イベントの収支差額相当分を減じた雑収益 1,540,880 円を特別事業積立金に積立てる。

- ・今後、WCEE 関連支出（例：18thWCEE スポンサーシップ等）が理事会の決議により承認された場合には当該雑収益を充てることも可とする（本件、本年 3 月の理事会で確認済み。）。・阿部理事より、18th WCEE のスポンサーシップの費用について報告がなされた。

第5号 編集委員会用 PC リース予算の計上について（向井理事）

- ・向井理事より、資料 64-29 に基づいて、編集委員会用 PC リース予算の計上について説明がなされ、承認された。

懇談事項

1) 今後の予定について（小林理事）

- ・小林理事より、資料 64-26 に基づいて、今後の予定について説明がなされた。

2) IT 関連ツールの活用について（小林理事）

- ・小林理事より、資料 64-28 に基づいて、IT 関連ツールの活用についての説明がなされた。
- ・理事会運営の効率化のため、資料の共有ファイルサーバーへファイルの保存、日程調整におけるアプリの利用を進めることとなった。

3) その他

- ・高田会長より、19th WCEE の開催候補地募集は本年 9 月までであるが、17th WCEE はバーチャルが主体であったために達成感を疑問視している人がいるため、関係者で今後の対応を相談する動きがあるとの話題提供があった。
- ・高田会長より、現状、JAEE と会長懇談会があるのは地震学会だけであるが、今後、他の学会との交流を良い形で進めることに留意したい旨の発言がなされた。

次回予定：（第 65 回理事会）：8 月 4 日（金）16-19 時

以上 この議事録が正確であることを証します。

令和 年 月 日

議長 高田 毅 士

監事 永野 正 行